

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月12日（木）
株式会社 **力ネカ**

目 次

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
全社業績についての2つのRemarks	3
事業概況	4
貸借対照表	8
キャッシュ・フロー計算書	9
連結業績予想などの将来予測情報	10

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減	
			金額	%
売上高	5,774	6,915	1,141	19.8%
営業利益	275	436	160	58.2%
経常利益	221	408	187	85.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	265	107	67.3%
1株当たり当期純利益	242.68円	406.01円		

(パンデミックとウクライナ危機 – 「Adaptability」力を磨く –)

- ウクライナ情勢が世界情勢の大きな波乱要因となり、資源エネルギー・食糧の危機、サプライチェーンの混乱など社会の構造を揺るがしている
- 先の読めない時代に突入しており、環境の変化に即応できる「Adaptability」力に磨きをかけていく

(世界経済と日本の状況 – 景気回復への不安が拡大 –)

- 世界経済は、コロナ規制緩和と各国の財政・金融政策が後押しして回復基調
- ウクライナ問題がエネルギー・資材・食糧等の高騰の引き金、インフレ進行に拍車をかけ、事業環境は一層不透明な情勢
- 日本ではエネルギー・食糧等の物価上昇や円安シフトにより景気回復への不安が広がる

(当社グループの業績 – 増収増益 –)



セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高											
	2021年3月期					2022年3月期					年度累計 増減	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	金額	%
Material SU	489	556	602	658	2,305	700	709	763	827	2,999	694	30.1%
Quality of Life SU	297	339	392	382	1,410	409	419	434	429	1,691	281	19.9%
Health Care SU	117	128	141	139	524	132	134	154	169	589	65	12.4%
Nutrition SU	359	376	411	378	1,524	398	397	431	400	1,626	102	6.7%
その他	4	2	2	3	11	3	2	2	3	11	△1	△7.6%
計	1,266	1,401	1,548	1,559	5,774	1,641	1,662	1,784	1,828	6,915	1,141	19.8%

	営業利益											
	2021年3月期					2022年3月期					年度累計 増減	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	金額	%
Material SU	29	45	65	94	233	93	87	83	101	364	131	56.3%
Quality of Life SU	12	27	44	23	107	46	47	45	32	169	63	59.1%
Health Care SU	23	27	32	33	114	23	29	32	42	127	12	10.7%
Nutrition SU	8	6	19	16	49	14	7	16	14	51	2	4.2%
その他	2	1	1	2	6	2	1	1	2	5	△1	△16.1%
調整額	△ 54	△ 56	△ 58	△ 64	△ 233	△ 60	△ 59	△ 73	△ 89	△ 280	△47	-
計	20	50	103	103	275	118	112	103	102	436	160	58.2%

※SU：Solutions Unit

(海外オペレーションとポートフォリオ変革が両輪で収益拡大を牽引)

①花開いた海外オペレーション

世界経済の回復は力強く、海外売上高比率は過去最高（45%）を記録
グローバル視点に立って運営しているオペレーション力が花開き、大幅な増収増益の原動力

- Material系、E&I、Fiber、Medical、Pharma、Supplementの海外需要はコロナ前をはるかに上回るモメンタム。グローバルネットワーク（世界を三分割した地域統括会社制度）の現場力がグローバル販売を大きく押し上げた
- 3Q、4Qの原燃料価格の高騰に適切に対応し、スプレッドを拡大
全社売上高は過去最高を更新、すべての事業セグメントで増収増益

②進展したポートフォリオ変革

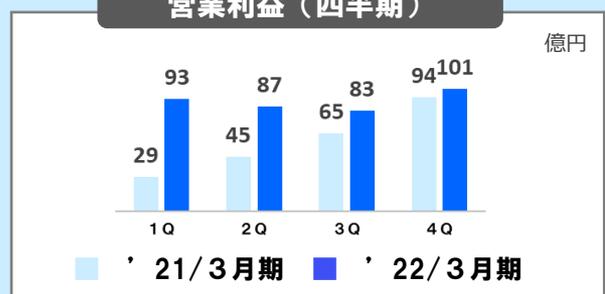
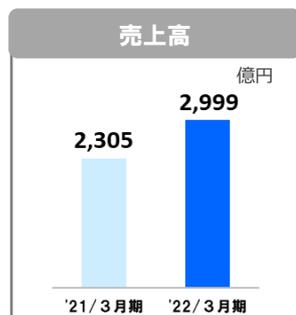
コア事業群がキャッシュを生み出し、先端事業群の収益が着実に拡大する好循環エコノミーの進化が続く

- 先端事業：MSポリマーの欧米・アジア向け販売、Medicalの血液浄化・カテーテル新製品、Pharmaの低分子・バイオ医薬品、米州向けSupplementなどが順調に伸びた。E&Iのスマートフォン・PC向けポリイミド製品、大型TV向けアクリルフィルム用樹脂、再生可能エネルギー需要を追い風に、高効率太陽電池製品の販売拡大により先端事業の収益は着実に拡大
- コア事業：Vinyls & Chlor-Alkali、MOD、Fiberで生産能力を上回る受注状況、キャッシュを生む力を確実にしていることで事業ポートフォリオの変革が着実に進む

事業概況 (Material Solutions Unit)

売上高 2,999億円 (前年比 +30.1%)

営業利益 364億円 (前年比 +56.3%)



Vinyls and Chlor-Alkali

- アジア市場の旺盛な需要拡大が継続、海外市況上昇が収益増に貢献

Performance Polymers (MOD)

- 欧米亜の需要が好調に推移、非塩ビ用途（自動車、PC・家電向け）の販売がグローバルに拡大
- グローバル4拠点を持つ供給体制が力を発揮し、世界的なサプライチェーン混乱のなかでPainをGainに変えた

Performance Polymers (MS)

- 欧米の需要増が継続、アジアの新しい市場（建築用途など）が拡大
- 今後の旺盛な需要を見越して、各生産拠点の生産能力増強を急ぐ

Green Planet

- 大型能力増強を決定。生産性向上やコストダウンを実現し、次期増設に向けて生産技術を進化させる
- 国内 「プラスチック資源循環促進法」が需要の呼び水。ホテル、コンビニなどのカトラリーなど引き合いが急拡大
- 海外 世界中のブランドホルダーとの大型共同商談が進展



事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)



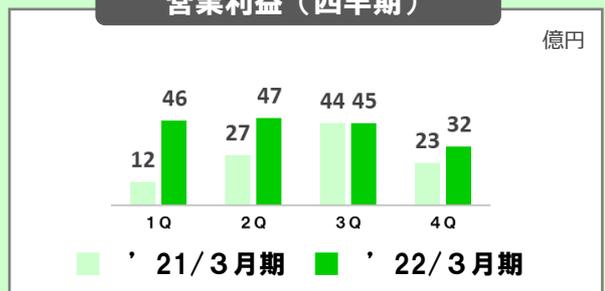
カガクでネガイをカナエル会社

売上高 1,691億円 (前年比 +19.9%)

営業利益 169億円 (前年比 +59.1%)



営業利益 (四半期)



Foam & Residential Techs

- EPS、KLFは原燃料高騰の影響を強く受けた。EPOは自動車減産で需要回復が遅延
- 「Tack Pack」はワクチン低温輸送でコロナ対応ソリューションとして貢献

PV & Energy management

- 住宅向け高効率太陽電池は搭載率アップにより販売が拡大
- ZEBの社会実装に適した「発電する窓（シースルー型太陽電池）」「発電する壁（壁面設置型太陽電池）」の需要も加速
- 高性能「ペロブスカイト太陽電池」開発へ国の助成金交付決定、実用化技術開発を加速

E & I Technology

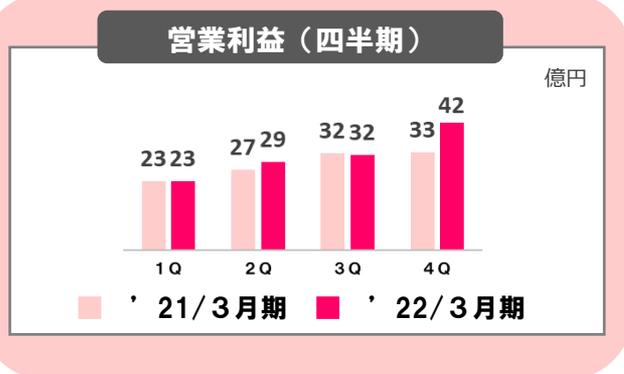
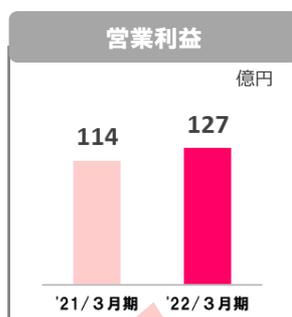
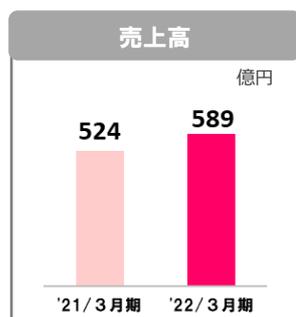
- スマートフォンや有機ELディスプレイ用のポリイミドフィルム、ワニス、大型TV向けのアクリルフィルム用樹脂の販売が好調
- 拡大する需要に応えるべく、生産能力増強を検討中

Performance Fibers

- アフリカ向け頭髪製品の旺盛な需要が継続
- 難燃資材向けの需要も回復基調
- 需要の伸長に対応するため能力増強を検討中

事業概況 (Health Care Solutions Unit)

売上高 589億円 (前年比 +12.4%)
営業利益 127億円 (前年比 +10.7%)



Medical

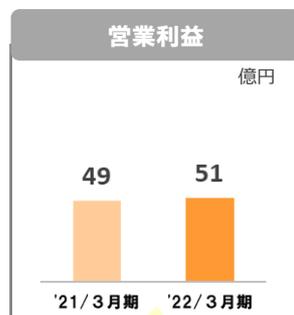
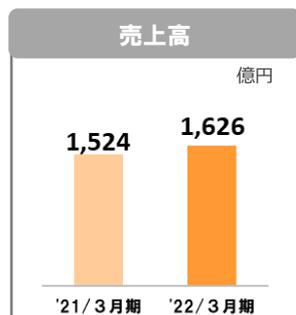
- 新製品ASO治療用血液浄化器の治療効果が高く、販売が増加
カテーテルで脳動脈瘤塞栓コイルなど海外向が拡大
- 開発力を活かしてコロナウイルス変異株に対応したPCR検査キットを上市、感染拡大防止に貢献
- プロセス革新による自動化・高度化をデザインしたフィールドオペレーション・ゼロの最新鋭医療機器工場の新設を決定。医療器事業のグローバル展開を加速

Pharma

- バイオ医薬品は、カネカユーロジェンテック増設ラインでコロナワクチン受託製造が業績に寄与、研究試薬・検査診断サービスも順調
- 低分子医薬品では抗ウィルス薬新規大型案件の販売が開始、業績に貢献

事業概況 (Nutrition Solutions Unit)

売上高 1,626億円 (前年比 +6.7%)
営業利益 51億円 (前年比 +4.2%)



Supplemental Nutrition

- 「免疫力アップ」意識の高まりから還元型Q10の販売好調
- 国内は「わたしのチカラ」還元型Q10配合シリーズの新たな機能性表示取得、ラインナップを強化
- 乳酸菌事業は米国で市場認知進み、生産体制強化、販売拡大させる

Foods & Agris

- 油脂等原料価格の大幅上昇の強い影響
- 新たにスタートしたモール型ECサイト「ぱん結び」は好評、「パン好きの牛乳」、「ベルギーヨーグルト」「Q10ヨーグルト」と合わせてSNS他メディア戦略を強力に進める
- 有機酪農・乳製品事業は好評で生産体制の強化を検討中

営業利益 (四半期)





貸借対照表

(単位：億円)

	2021年3月末	2022年3月末	増減
資産の部			
流動資産	3,090	3,629	539
固定資産 等	3,584	3,640	56
資産合計	6,674	7,270	595
負債の部			
有利子負債	1,182	1,276	94
その他	1,681	1,871	190
負債合計	2,864	3,148	284
純資産の部			
自己資本	3,571	3,872	301
非支配株主持分 他	239	251	11
純資産合計	3,810	4,122	312
負債、純資産 合計	6,674	7,270	595
自己資本比率	53.5%	53.3%	
1株当たり純資産	5,473.85円	5,934.36円	

- 総資産は、売掛金や棚卸資産の増加等により増加
- 負債は、買掛金の増加等により増加
- 純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により増加



キャッシュ・フロー計算表

Kaneka

カガクでネガイをカナエル会社

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	740	341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 432	△ 396
フリー・キャッシュ・フロー	308	△ 55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 219	△ 11
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	88	△ 56
現金及び現金同等物の期末残高	464	407

- 営業CFは、税金等調整前当期純利益や減価償却費等により341億円の収入
- 投資CFは、有形固定資産の取得等により396億円の支出
- 財務CFは、配当金の支払等により11億円の支出



(不確実性の困難を超えて、Adaptability がキーワードです)

- IMFは2022年の世界GDP成長率を3.6%に引き下げ。コロナとウクライナ戦争により経済の回復基調が腰折れ局面を迎える
- 科学とテクノロジーの進化、イノベーションが加速。地球環境を守りサステナブルな人間性の回復に貢献する
- 長年の研究開発が世界の課題解決への可能性と希望の扉を開きつつある。変化に素早く対応するAdaptability はカネカがカネカであるための「Going Concern」

(ドキドキワクワクする実験カンパニー)

- コア事業群は、新鮮な目で新しいテクノロジー開発に取り組み、先端事業化が進む
- 未知の世界は遠い向こうにあるだけでなく自分の足元にある
先端事業が広げようとしているニュードメインは地平線の向こうにある未知をみることではない
研究者は既知の場所に居つかず、地平線の向こうに向かって一步を踏み出す毎日を習慣にしている
- 化学という不思議の海の冒険
ドメインを変え新しい土俵を意識、ユニークな技術による変身をつづけ「科学する心」を大切にする
- 今年度は、MS 事業が先端事業群に加わった



連結業績予想などの将来予測情報

(今年も「人間賛歌の経営」に取り組んできました。強化します)

- 大きなところの変化はウイルスの存在を生命の一つだと考えるようになったこと
- カーボンニュートラル地球環境問題がクローズアップされ、世界が、サステナブル社会の実現を共通課題として認識するキッカケになった
- Task Force 「Sustainability (SX) 本部」組織を立ち上げ「人間賛歌の経営」に取り組む一環としてESG経営を強化・加速

ESG推進体制図

Task Force

Sustainability (SX)本部



(2023年3月期の連結業績見通し)

- キャッシュを生むコア事業群を強化、研究開発活動に経営資源を積極的に投入。革新的なTechnologyの開発が進み、ユニークな製品や技術の社会実装が始まっている
- 先端事業では、Health Care SUのMedicalの血液浄化器・カテーテル新製品、Pharmaのバイオ医薬品、低分子医薬品、Quality of Life SUのE&Iのスマホ向けポリイミド製品や光学フィルム用樹脂の販売が拡大
- コア事業群では、旺盛な需要が続く。原料は原油市況に左右される不安定な状況 Vinyls & Chlor-Alkaliは引き締まった需給バランス状況、市況は堅調に推移 MODも欧米の景気回復とポートフォリオ変革による需要拡大に支えられ、好転した事業環境が続く Performance Fibersはアフリカを中心とした販売拡大が続く



連結業績予想などの将来予測情報



カガクでネガイをカナエル会社

(単位：億円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	増減	
			金額	%
売上高	6,915	7,400	485	7.0%
営業利益	436	480	44	10.2%
経常利益	408	430	22	5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	265	280	15	5.7%
1株当たり当期純利益	406.01円	420.60円	14.59	

【前提条件】 為替レート：120円/米ドル、135円/ユーロ 国産ナフサ価格：80,000円/KL

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	増減		2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	2,999	3,200	201	6.7%	364	340	△ 24	△6.6%
Quality of Life SU	1,691	1,850	159	9.4%	169	205	36	21.0%
Health Care SU	589	695	106	17.9%	127	158	31	24.8%
Nutrition SU	1,626	1,645	19	1.2%	51	68	17	33.7%
その他	11	10	△ 1	△5.9%	5	5	△ 0	△0.3%
調整額	-	-	-	-	△ 280	△ 296	△ 16	-
計	6,915	7,400	485	7.0%	436	480	44	10.2%

※SU：Solutions Unit

<IRに関するお問い合わせ>

株式会社 **カネカ** IR・広報（Investors & Public Relations）部

TEL：03-5574-8090